LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１８年９月号

８月 21 日に行われた、枚方市立中央図書館主催「大人の学校ー鶴島昭雄さんの戦争体験の話」。40 名ほどの参加者があり、盛況でした。

『少年期は戦争中だった　枚方市在住鶴島昭雄さんの戦争体験』完全版も完成しました。（５ページに紹介記事）

- ［作家 鶴島緋沙子の もぐらの目 63］　俎板の上の鯉
- 戦争って、どうして起こるの？ 誰が起こすの？
- マンガ「明るい自閉症講座」2♪
- 秀作エッセイ「揚羽蝶」
- 少年期は戦争中だった　完全版 完成しました♪
- 原発賠償関西訴訟第 19 回期日の傍聴に行きました。
- イベント紹介　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「**ＬＩＰ編集局**」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913(18 時以降)

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

「もぐらの目」～六十三～

鶴島緋沙子

俎板（まないた）の上の鯉

白い超モダンな建物のドアを開けると、明るいロビーが広がる。まるでホテルだ。受付けの若い女性が、「いらっしゃいませ」とは、まさか言わないが、眼鏡の下に笑顔をのぞかせる。ここは、通い慣れた歯科医院。

診察券を指定のきれいな箱に入れると、ゆったりとした待合室の椅子に腰をかける。横には、子供用の遊び場もあり、至れり尽くせりの待合室である。間もなく中年男性が一人入ってきて置いてある新聞を広げる。私の次の患者さんだろうか。と思う間もなく。

「鶴島さん。どうぞ」

と診察室の中から声がかかる。診察室は超明るい。

「倒しますよ」

の声と同時に、がく、がく。がく。上を向いたままの身体の上半身が下へさがる。最後にもう一発、がく！　首だけがだらりと下へ。目に入るのは、眩いばかりの天井の灯り。いきなりその下がった顔の右横から、何やらきらりと光る刃とも思しき白い光ものが口の中へ。釣り上げられた鯉の心境はかくやと思う間もなく、ガリガリガリ、ヒュー、も一つヒュー。もはや、観念するしかない。

やがて手順通り、工事が進んだのであろうか、

「型をとりますからね、大きく口を開けて、ちょっと我慢して」

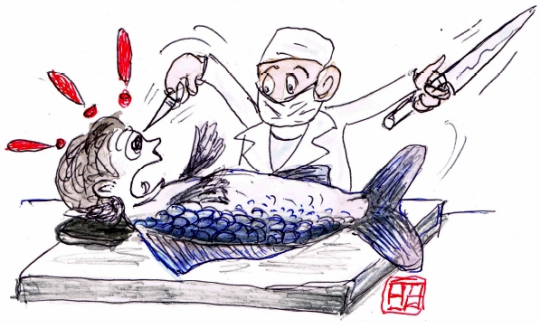
と今度は左から、女性の声。うん、も、すん、もない。いきなり片手で私の唇と顎を掴んで、口をかっと開かせ、粘土か、はたまた石膏か、それを塗りこめた人工の顎らしき形のものを口に押し込む。何が「ちょっと我慢」だ。

「ぐっと、噛んで、ぐっと。そのまま離さないで」

まるで、ライオンの親が子に、餌を与えた時のような言い草だ。

そのまま姿を消す。

噛むしか仕様のないこちらの態勢と気持ちを先取りして、相手は言いたい放題、やりたい放題。ま、ここは諦めるか。先日契約した時のことを思い出す。



「あんまり真っ白い歯は嫌ですよ。テレビタレントのように、他は皺々なのに歯だけ青春というのは。歳相応の多少黄みがかって。ほら、いぶし銀って、よく言うでしょ、使いこなした道具のような、そんな趣の歯にして下さい」

と言う私に、それまで顔を覆っていた大きなマスクを取って歯科医が、素顔を見せた。意外にイケメン。

「分かりました。費用が少しかかりますが……」

「あ、あ、そうですか、……なにぶん歳ですから、そんなに長く持たなくても……」急に声が低くなるのが、我ながら情けない。

戦時中、国民学校（小学校）四年生の頃、母に連れられて初めて歯科医院へ行ったことを思い出す。うす暗い照明の中に様々な器具が収まる縦長のガラス扉の用具入れ。その前に立つ歯科医。その医師の顔は思い出せないのに、青い縦縞模様の着物を着ていた母の心配顔だけは、七十三年経った今も懐かしさと共に蘇る。

まだまだ、美味しいもの食べる気充分、その為なら、俎板の上も何のその、歯科医様、どうぞ御存分に。

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」（つげ書房新社刊）などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。著書『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表。

戦争って、どうして起こるの？　誰が起こすの？

ダニー・ネフセタイさんのお話を聞きました

６月 24 日（日）大阪市港区弁天町のＨＲＣビルで、公益社団法人子ども情報研究センター総会記念企画講演会「原発と戦争と平和」が開催されました。ゲストは、東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream（サンドリ）の森松明希子さんと、埼玉県秩父市在住の家具作家でイスラエル人のダニー・ネフセタイさん。森松さんのお話については、『ＬＩＰ』2014 年６月号でお伝えしたことがあります。今号では、ダニーさんのお話をお伝えします。

ダニーさんの著書『国のために死ぬのはすばらしい？』（高文研、2016 年）

中東の終わらない戦争

ダニー・ネフセタイさんは、イスラエルの元空軍兵。兵役除隊後世界を旅する中で日本を訪れ、日本人女性と結婚、日本在住 37 年です。イスラエルの現状についてわかりやすく説明してくれました。

2000 年から第二次インティファーダと呼ばれるパレスチナ人の抗議行動が始まり、イスラエルでは毎週のようにバスで「自爆テロ」が起きました。時には 20～30 人もの死亡者が出ます。これを回避するため、イスラエルは自ら定めた境界に沿って分離壁を建設しました。すると一時的にテロがおさまったものの、その後ロケット弾が撃ち込まれるようになりました。ミサイル防衛システムでその攻撃を食い止めると、分離壁の下にトンネルが掘られそこから侵入される。トンネルを埋めると、ガザから火のついたタコが飛んできて、毎日のようにあちこちで火事が起こるようになりました。どうしてこんなことに……？

イスラエルは、レバノンやシリアなど、周囲を民族も宗教も異なる国々に囲まれ、「ユダヤ人国家イスラエルと周辺アラブ諸国との戦争はしかたがない」と説明されています。「けれど実は違う」とダニーさん。1979 年のキャンプデービッド合意で和平が成立したエジプトとイスラエル。「仇敵」であった国を今では多くのイスラエル人がピラミッド観光に訪れています。別の民族、別の宗教でも、平和に共存できるのです。

戦争が起こる本当の原因は、「カネ」。トマホークミサイル一発の値段は約１億円。それだけの金が動いて儲かる人がいるのです。新しい兵器が次々開発され、それまでの兵器は役に立たなくなります。米国の「兵器の墓場」と呼ばれるところの衛星写真を見ました。写真に写る、数多くの小さな点の一つ一つが、高価な軍用機。使われぬまま「型落ち」で廃棄処分にされてしまう兵器たち。「湾岸戦争は古い兵器の在庫一掃処分だった」と以前聞いた言葉が耳に蘇りました。世界の軍事企業の売り上げは莫大なものです。私たちの生きているこの世界は、「戦争がないと成り立たない」仕組みになっているのです。

私たちの国は、どこへ行こうとしているのか？

「自然災害に備えるのと同じように他の国からの攻撃に備える必要がある」。国会で議員がそう発言した時、私たちは「そうだなぁ」と思ったのではないでしょうか。しかし、　［４ページに続く］

自然災害が起こるのは避けられませんが、戦争は外交で回避できるのです。

普通の人間は戦争を望んでいるでしょうか。ナチの国家元帥であったヘルマン・ゲーリングは、国民を戦争に参加させるのは簡単だ、「攻撃されつつある」と言って人々の不安を煽ればいいと言いました。平和主義者は「国を愛していない」と隣人から非難迫害される。そうして、戦争へ向かう国ができあがるのです。

イスラエルの学校では、「国のために死ぬのはすばらしい」と先生が子どもたちに教えます。６歳の時から、「いつか国のために死のう」と思うように教育されるのです。そして徴兵制で、18歳になると、男性は３年、女性は２年の兵役につきます。ダニーさん自身高校卒業後パイロットに志願して、イスラエル空軍に入隊しました。

「日本に今徴兵制はないけれど、戦争をする国にするのは簡単です。小学校から 12 年間かけて、国を守るために戦争は大切だと教え続ければいいのです」とダニーさん。「金も権力も何もかも、私たちは政治家に負ける。唯一勝てるのは、人数です」。手と手をつないでハートをつくったイラストを指さして、「これです！」　にっこり笑って話を終えられました。

（子ども情報研究センター会員　豊高明枝）

明るい自閉症講座（２）

作　くろねこ七桜

揚羽蝶

谷たか子

我が家のベランダの下には猫の額ほどの菜園がある。毎年春になると胡瓜やトマトなどの苗を植えるのだが、近頃はパセリも植えることにしている。胡瓜が収穫できるようになる頃には、パセリも大きく成長してきた。

そんなある日、パセリの軸に貼り付いている小さな青虫を見つけた。二センチにも満たない毛糸くずのような青虫だったが、その色彩が、なんとも美しい。鮮やかな緑に黒の縞々が、まるで近未来の新幹線のようだ。きっと揚羽蝶の幼虫だろう。害虫は早めに駆除しなければならない。恐る恐る指でつまむと、くねくねと体をくねらせる。何とも可愛い。パセリはこんなに茂っているし、いも虫一匹位養ったところで大した被害はないだろう。そう思って幼虫をそっとパセリの枝にもどしてやった。「イモ子」と名付け、それ以来菜園に入る度にイモ子の姿を探して声をかけた。

ある日、イモ子の姿が見えなくなった。私の留守に羽化してしまったのか。ひとの気も知らないで。その二日後、ベランダで干し物をしていると一匹の揚羽蝶が飛んでいる。

「イモ子！」　思わず叫んだ私の目の前をイモ子は左右に揺れながら飛び去った。

「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」谷たか子さんの作品です。講師をつとめる鶴島緋沙子さんの推奨作品。

少年期は戦争中だった　完全版　完成しました♪

『少年期は戦争中だった』
枚方市在住　鶴島昭雄さんの戦争体験
完全版

文・絵　鶴島昭雄
発行　ＬＩＰ編集局
編集／製本：とれぶ出版部
頒価　500 円
２０１７年5 月２１日 初版発行
２０１８年8月２１日 完全版発行

ＬＩＰ２０１５年１０月号からはじまり、２０１８年６月号の最終回まで、ほぼ隔月掲載されたシリーズの全文章を掲載しています。
Ａ５判　８６ページ　手製本

「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判

原発賠償関西訴訟第 19 回期日の傍聴に行きました。

8月9日(木)大阪地方裁判所で、原発賠償関西訴訟の第19 回期日が行われました。これは、2011 年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対し、原発事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員に対する暮らしの支援を求める裁判です。台風13 号の影響で連日の猛暑がほんの少し和らいだこの日傍聴を求めて集まった人は、97 人。抽選に外れ法廷に入れない人のために地裁の隣にある弁護士会館で法廷とほぼ同時進行で模擬裁判が開かれました。

法廷では、原告から準備書面53「事故後の事情の法的位置づけ」、準備書面54「原告らの損害と健康被害について」及び準備書面55「結果回避可能性」が提出され、被告・国から準備書面29「被告国の「決定論的安全評価」と「確率論的安全評価」の関係について」が提出されました。

準備書面55「結果回避可能性」については、原告弁護団からパワーポイントによる内容説明がありました。内容は、国の主張「2008 年に東電設計株式会社が津波評価を行った推計では、福島第一原発敷地南側での津波高は最大 O.P.＊+15.7m であるが、1～4 号機の海側部分の津波高の最大は O.P. +9.244m であった。そこで敷地高（O.P.+約 10m）を超える南側部分だけに防潮堤を作るという対策になり、その対策を講じていても、実際には1～4 号機沿いで O.P.+15m の高さに達した津波による本件事故は回避できなかった」に対して、「津波対策は 2008 年の推計結果そのものに対応するだけでは足りない」「津波対策は防潮堤の設置に限らない（水密化等の対策を取ることができた）」ということを具体的な事実をあげて論証し、「被告らにおいて、本件事故が回避可能であったことは明らかである」と結論づけるものでした。

閉廷後模擬裁判の行われた会場で報告集会が開かれました。原告からは、福島県で放射能線量を測るモニタリングポストの撤去が予定されていたがまだ撤去強行されたところはないという報告。また、村議会ではほぼ全員一致で「撤去反対」と決議したが村そのものは撤去に賛成、すなわち自治体トップの意向と議会が相反しているところがあるということも。かながわ訴訟の傍聴に行った原告からは、報告集会で横浜のお母さんから「横浜市内の中学校内に除染した汚染土で作った新建材を積極的に使うという動きがあり、抗議している」という話を聞いたが、このようなことが全国で起こっていくのではないかということ。さらに韓国で原発近隣住民が医療訴訟で勝訴したこと、韓国の原発25 基のうち 19 基が日本海側にあり事故が起これば間違いなく日本に大きな影響が及ぶこと、だからこそ世界的につながって状況を変えていくことが必要であるということ等々。続いて関連訴訟の原告からの報告など。そして最後にこれから結審や判決を迎える各地の関連訴訟や、大阪高裁での控訴審開始を待つ京都訴訟に対して、応援のアピールアクションを力強く行いました。

大阪地方裁判所での原発賠償関西訴訟の次回第 20 回期日は11 月1日（木）午後2時開廷です。

（とよたかあきえ）

＊O.P.（=onahama peil）小名浜港工事基準面：福島県いわき市の小名浜港の水位を基準として、どれだけの高さになるかという数値。海抜とほぼ一致する。

イベント・サークル・ボランティア情報

Dサポーターズ総会

◆日時　２０１８年９月２４日（振休）
　　１４時～１６時３０分
◆会場　サンプラザ３号館５階
　生涯学習市民センター　視聴覚室
◆主催者および連絡先
　Dサポーターズ－教育の自由を取り戻す会－
　連絡先：福山（090-5240-9261）
◆参加費　前売り・会員　５００円
　　当日　　７００円
◆講師紹介
　今回のDサポーターズ総会のゲストは、MBSディレクターの斉加尚代さんです。
「映像'15 なぜペンをとるのか？　沖縄の新聞記者たち」「映像'17 教育と愛国～いま教科書で何が起きているのか」などの番組制作で様々な賞を受賞されています。
貴重な機会です。ぜひご参加ください。

知的障害者を普通高校へ北河内連絡会９月定例会案内

○日時　９月２３日（日曜日）　午後１時３０分～４時３０分
○場所　ラポールひらかた　２階作業室
　（駐車場は障害者用のみ。公共交通を利用してください）
○内容
　１）今年度の我が子の高校受験について
　２）今年度の高校受験をめぐっての情勢
　３）２学期が始まって：夏休みと新学期の子どもと学校での課題
　４）「医療的ケア」の要る子どもを巡って
　５）７月の総会・学習会の反省とこれからの課題
　６）その他何でも話し合いましょう！

○参加費　１家族につき１００円
○連絡先　松森：０９０-１９６０-３４６９
　　関山：０９０－２５９９－６１６２
○主催　知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

イベント・サークル・ボランティア情報

＊＊無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ＊＊

・バザー　9/28(金) 10:30～：市役所前の岡東町公園にて
・廃油回収　9/18(火) 10:30～12:00
　　：サプリ村野玄関前にて

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

障害者労働センター　　枚方市中宮山戸町10-12-101
TEL072-848-0508
ネットショップ　URL:http//paso0508.cart.fc2.com

シリーズ「地域で自分らしく生きる」
『むかしＭａｔｔｏの町があった』映画上映会
監督：マルコ・トゥルコ　製作：2010年

■日時：９月30日（日）10：30～16：30（開場10：00）
■場所：大阪市立生野区民センター
　　（大阪市生野区勝山北３－13－30）
■プログラム
・10：30～12：10
　『むかしＭａｔｔｏの町があった』第１部上映
・12：10～13：00　休憩
・13：00～14：45
　『むかしＭａｔｔｏの町があった』第２部上映
・15：00～16：00　小林絹恵さんのお話し「トリエステの今」
・16：00～16：30　質疑
■主催：「地域で自分らしく生きる」をめざす実行委員会
　共催：生野区社会福祉協議会
■入場無料
■問合せ：生野区社会福祉協議会　０６－６７１２－３１０１

イタリアは精神病院を全部廃止しました。その精神保健改革の中心になった街トリエステ。上映後にトリエステに留学し、包括的地域精神保健サービスの活動を目の当たりにしてきた小村絹恵さんに「改革後も『脱制度化』の道は終らない…」と前進し続けるトリエステの今についてお話を聞きます。

ＮＰＯフェスタ　写真展・上映会

◆日時：９月９日（日）（１０じ～１５じ）
◆会場：枚方市民会館本館２階
写真展「本当のフクシマ・オキナワ」無料（終日）
映画上映　①１０時半～　　②１３時～
「東日本大震災　東北朝鮮学校の記録（２０１１．３．１５～３・２０）」　コマプレス制作・６７分
全国からの支援物資を自分たちは２食にして１食分を近隣の日本人に分け与えたという事実を私たちは知らなくていいのだろうか
協力金　　前売り　８００円　　当日１０００円
連絡先　　イラク平和テレビ局ｉｎ ＪＡＰＡＮひらかた
　　手塚（０９０－４５６４－２１８３）

「枚方自閉症児（者）親の会」　９月例会

＊日時　９月７日（金）10時～12時
＊場所　ラポールひらかた４階共用ルーム
＊連絡先　松崎 072-945-3014　鬼塚　072-841-3515

枚方市民ミュージカル「ひらかっぱちゃんの夏休み」

■日時：9月2日（日）13時、16時開演
■会場：メセナ枚方　多目的ホール
■主催：さくらさくらカンパニー
■連絡先：徳永　070-5664-4476
■チケット代：前売、当日ともに1500円

「きみと出会ったこの夏は　一生忘れられない思い出になる」

さくらさくらカンパニー初の主催となる枚方市民ミュージカル！　オーディションを勝ち抜いた、枚方市の一般市民精鋭が熱演する夏休みらしい、ほっこりあたたかなお話。
子どもから大人まで楽しめる、オリジナルミュージカルをお届けします♪

【参加者募集】　放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」
交流会と身体ほぐしのプチレッスン

子どものこと、学校のこと、高校進学、勉強や、家庭での時間の過ごし方について、気になることはないですか？
保護者どうし、時には支援者を交えて、おしゃべり情報交換しましょう。
13時からは和室で簡単な身体ほぐしをします。
◆日時：９月５日（水）10時30分～15時
◆場所：ラポールひらかた
　　10時30分～13時　４階 フリースペース
　　13時～15時　３階 和室
◆参加費：無料
◆持ち物：13時からの身体ほぐしに参加される方は、各自バスタオル、タオル、お茶か水をお持ちください。
◆問合せ：c-k@love-dugong.net または、
　　090-5893-5635（とよたか）
　（予定変更の場合もありますので、ご確認願います。）
下記ブログにて、随時情報を掲載しています。
http://ameblo.jp/challengekids81573/
（「チャレンジ・キッズ」「アメブロ」で検索してください）

大阪憲法ミュージカル２０１８公演
「憲法のレシピ」
平和や人権を内容とする日本国憲法が、どのような過程を経て生まれてきたのかを、ミュージカル仕立てで上演します。
終戦直後の大阪。
大人も子供もたくましく生きていた。
巷に「憲法改正」の噂が流れてくる。
新しい日本を作るための新憲法はどうなるのか。
庶民の目線で未来を考える。平和憲法のレシピはそこにある。
　9月14日（金）開場14:30／開演15:00
　9月14日（金）開場18:30／開演19:00
　9月15日（土）開場12:30／開演13:00
　9月15日（土）開場16:30／開演17:00
　9月16日（日）開場10:30／開演11:00
　9月16日（日）開場14:30／開演15:00
　9月17日（祝日）開場10:30／開演11:00
　9月17日（祝日）開場14:30／開演15:00
◆会場：大阪ビジネスパーク円形ホール
◆一般：3,500円／大学生・高校生：3,000円／中学生以下・障がい者：2,000円（当日券は＋500円）　※全席自由席
◆主催：大阪憲法ミュージカル
◆問合せ：エヴィス法律会計事務所
　　090-8933-0916

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ WAVE34(ボウリング場) ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ えほんのお部屋ひまわり畑 ［枚方市香里ケ丘 12 丁目 6-28　090-6739-7064］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 教育文化センター ［枚方市磯島北町 37-1　050-7102-3150］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ カフェレストラン風鈴火山 ［枚方市牧野阪 2-5-19　072-856-3799］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 1-6-28　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］
☆ 街かどデイハウス秋桜 ［枚方市宗谷 1-1-1　072-859-3991］
☆ 明日花障害者作業所 ［枚方市西禁野1丁目 3-18　072-848-2324］
☆ 陽だまりの会 ［枚方市交北 2 丁目 7-15　072-809-0015］
☆ Lin Brun. ［枚方市牧野下島町 18-7　072-865-3514］
☆ カミュゥ ［枚方市牧野下島町 13-11　072-865-7310］
☆ Grand Table ［枚方市山之上 1 丁目 12−10　072-846-3808］
☆ 尊延寺公民館 ［枚方市尊延寺 3 丁目 3－16　072-859-0168］
☆ ひねもすぱんのかふぇ［枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1 階 090-5963-0590］
☆ まことの豆富 燈 本店 ［枚方市楠葉中町 1-5 072-855-6022］
☆ 雑貨&cafe くろねこ・くぅ ［枚方市片鉾東町 20-1　072-896-9690］

◇　◇　◇　◇　◇

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ むく福祉会 ワークホーム れっつ ［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆ ベビーフェイスプラネッツ松井山手 ［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内　075-982-3271］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市東大利町 2-14(市立産業振興センター5 階)　072-800-5789］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-835-3335］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ 和食「ふる里」 ［三重県伊賀市長田 2541-1 0595-21-4498］
☆ Cut wa Coconi ［交野市梅が枝 55-13 072-893-0020］
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 宇治田原社会福祉事務所 ［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市萱島東1丁目 16-15　070-5435-1965］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

イラスト　表紙：平井由恵

応援ありがとうございます♪

ＬＩＰ応援団

鶴島ひさこさん

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
32,062	前号から繰り越し
2,000	寄付
1,000	広告費
4,000	戦争体験売り上げ
▼420	郵送代
▼500	８月ロッカー代
▼4,150	８月号印刷代
33,992	計（次号へ繰り越し）

■今年はふと思いついて、実家の畑にゴマの種を蒔いてみた。野菜どころか雑草たちまで元気がなくなるほどの酷暑のなか、このゴマだけは元気いっぱい、すくすく成長し、すでにわたしの身長を超えている。なんでもアフリカ原産とか。無事収穫できたらうれしい。(w)

■とれぶ出版部として、『とれぶりんかぬりえブック』『少年期は戦争中だった』の２冊の手作り本を手掛けています。ただいま、フル稼働生産中。といっても、手製本なので、１日５冊程度が限界です。(w)

■ＬＩＰは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

ひらつー
「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト
枚方つーしん　検索